

**名前:** 高瀬千賀子

**略歴:**1983年6月-1984年8月に国連工業開発機関(在ジャカルタ)においてアソシエートエキスパートとして勤務後、1984年10月より国連事務局に勤務。国際経済社会局開発研究・政策分析部では中期予測を担当、マクロ経済・社会政策分析部では基幹出版物 *World Economic Survey* の執筆に携わる。

その後、政策調整・持続可能な開発局持続可能な開発部に移り、主に消費・生産の持続可能な行動への移行を担当する。この間、生物多様性条約事務局に約3年間勤務。国連に戻り、2002年にヨハネスブルグ(南アフリカ共和国)で行われた World Summit on Sustainable Development の準備および開催に携わる。

2005年8月より国連経済社会局経済社会理事会支援・調整部において政策調整課副課長(政策分析担当)として主に経済社会理事会の運営に携わる。

2011年3月より国際連合地域開発センター(UNCRD)所長代行、2012年2月より所長。2017年6月30日、定年退職。現在、国際基督教大学 非常勤講師(地球環境と持続可能な開発)、名古屋大学 客員研究員、及び早稲田大学、東京外国語大学及び上智大学で非常勤講師。

**その他コメント:**アソシエートエキスパートとして在職中に国連の国際競争試験を受け、国連事務局に勤務する様になった。国連在職中には国際競争試験の試験官も経験した。

経歴は国連本部で現在の経済社会局(DESA)が主だが、その中でも経済分析から持続可能な開発、経済社会理事会や国連総会第2委員会の補佐など、多岐に渡る仕事と部署を経験。また、生物多様性条約という条約の事務局での経験や、日本にある数少ないプロジェクト活動をする国連機関である国連地域開発センターでの経験もある。現在でも現役職員との連絡は続けており、経済社会及び持続可能な開発に関する業務や部署のご相談にはお答えできると思う。